

令和5年度第2回 日本脊椎脊髄病学会ヒストリアン委員会 議事録

日時：令和5年5月13日（土）7：00～8：00

場所：パシフィコ横浜 4階「414」会議室

出席：永島 英樹、谷島 伸二、橋本 功、明田 浩司、加藤 壯、寒竹 司、國府田 正雄、  
土屋 邦喜、橋爪 洋、千葉 一裕、根尾 昌志

欠席：須藤 英毅、名越 慈人（敬称略）

1. JSSR50周年記念誌：日本のオリジナリティある脊椎・脊髄外科の歴史アンケート集計

- 66名の評議員から回答
- どなたに依頼するか。今回のリストを提供し、ある程度漏れなく取り扱って頂くよう依頼
- 頸椎椎弓形成術：過去に執筆された椎弓形成のレビューを参考にして（Springerの laminoplasty など）、個別の術式について掲載せずに包括的に、著者は分散させて最終的にヒストリアン委員会でバランスの取れた内容にまとめる。C5 麻痺の対策について触れる
- 頸髄症：主に診断・評価に関する項目についてのレビューを検索する。各項目のオリジナルの大学（10秒：阪大、足踏み：名大）に依頼して、委員会で集約する
- OPLL（靱帯骨化症）；研究班（筑波山崎先生）に依頼。K-line を含める
- TES：富田先生
- 頸椎椎弓根スクリュー：鎧先生
- 胸腰椎前方（金田デバイス）：北大（須藤先生）。JBJS1934の京大伊藤先生、横隔膜切開についても触れる
- 歯突起前方螺子固定（中西式）：慶應（名越先生）
- モニタリング：玉置先生、あるいはモニタリング委員会
- 土方式：土方先生に確認
- 徳橋スコア：徳橋先生
- 腰椎除圧、内視鏡は本邦オリジナルとは言い難い。脊髄再生は歴史というより今後の発展。椎間板と合わせて「再生医療」の項目を作る。側弯症については側弯症学会がまとめている

2. 学会主導研究について

- リスト化して掲載
- 主体、プロジェクト名、時期のみを挙げる（橋爪先生）
- 神経障害性疼痛有病率の全国調査があった。検索する
- 企業色の強いプロジェクトも学会の取り組みとして掲載することにする

3. 大正アワード歴代受賞者リスト

- リスト化して掲載
- 所属施設（受賞時）の記載方法を統一する

4. 今後の委員会予定について

- 2025年春に発行予定
- 再生医療の追加も含め、ページ数・目次を今年度中にある程度固めて、依頼していく
- 秋頃に再度委員会を開催する